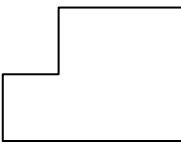



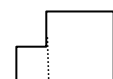
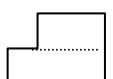
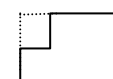






4年 ファイト二発コース

5 本時（6時間目）の学習指導

- (1) 目標
- ・複合図形の面積を長方形に分割，補完しながら，公式を用いることよきに気づき，求めることができる。
  - ・図形を用いて説明したり，友達の考えを聞いたりして，共通点に気付くことができる。

(2) 学習指導計画

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等 課題解決能力 見見通し 共感性
<p>1 学習課題を確認する。</p>  <p>2 面積の求め方を考える。 (1) 長方形を見つける。 (図形の操作)</p> <p>(2) 面積を求める。</p> <p>3 考えを発表し合う。</p> <p>4 まとめをする。</p>	<p>つかむ</p> <p>つくる</p> <p>確かめる</p> <p>ふりかえる</p>	<p>予想される児童の反応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>一番面積の広いチョコレートはどれでしょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  カカオ             </div> <div style="text-align: center;">  ホワイト             </div> <div style="text-align: center;">  まっ茶             </div> </div> </div> <p style="text-align: center;">の面積を面積の公式を使って工夫して求めよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">分割して</p>  <p><math>3 \times 2 = 6</math> <math>6 \times 5 = 30</math> <math>6 + 30 = 36</math></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">分割して</p>  <p><math>3 \times 5 = 15</math> <math>3 \times 7 = 21</math> <math>15 + 21 = 36</math></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">つけ加えて</p>  <p><math>6 \times 7 = 42</math> <math>3 \times 2 = 6</math> <math>42 - 6 = 36</math></p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・長方形が2つできたよ。 ・横にも分けられそうだな。 ・どの方法も式が3つだね。 ・補助線があると考え方がよく分かるね。</p> <p>・つけ加えると大きな長方形ができたよ。 ・他の二つの方法とは違うね。 ・補助線で長方形が二つできたよ。 ・どの方法も長方形の面積の公式を使っているね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>複雑な形でも，長方形の公式を用いて考えると面積を求めることができるよ。 だから，長方形に作り直せばいいんだね。</p> </div>	<p>見本時の見通しをもたせるために，前時までに学習した長方形や正方形の面積の求め方を唱えさせ提示する。その際，L字型をイメージしやすいように提示しておく。</p> <p>課 実際に切ったり，移動させたりして，2つの長方形に変形できることを実感させるために，各児童に操作用の図形を用意し，次のようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形を切る前に補助線を引くなど，見通しをもって操作するように助言する。</li> <li>・補助線を引く位置が見つかりにくい児童にはヒントカードを渡し，複合図形の中から長方形が見つけれられるように支援する。</li> <li>・一つの方法で解決できた場合，どうすればよいかを問い，他の方法を試してみることを活動前に確認しておく。</li> </ul> <p>共 長方形の面積の公式を用いて複合図形の面積を求めることの理解を深めるために，自分が図形を操作した方法や計算を説明したり，友達の発表を聞いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方の違いを明確にし，比べて説明しやすいように，いつものように求め方に名前を付けておく。</li> </ul> <p>評 複合図形から，長方形を見つけ，公式を使って面積を求めることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別の図形を提示し，長方形の公式を使えば面積を求めることができるということが，他の複雑な図形にもあてはまるかどうかについて，次時に確かめることを予告しておく。また，その図形を使い，補助線クイズをして補助線を引く練習をする。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">     </div>